

(様式 1-5)

広野町 地域魅力向上・発信事業計画に基づく事業 個票

令和5年1月13日時点

※本様式は1-3, 1-4に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	1	事業名	広野町五社山・高倉山等を活用した魅力発信事業	事業番号	A-4
事業実施主体		広野町	総交付対象事業費		21,123 千円
既配分額		0 千円	当該年度交付対象事業費		21,123 千円
経費区分ごとの費用					
一 地域の魅力向上・発信事業①情報					
①情報発信事業 <span style="float:right">小計 21,123 千円</span>					
i) 風評動向調査 <span style="float:right">千円</span>					
ii) 体験等企画実施 <span style="float:right">5,067 千円</span>					
iii) 情報発信コンテンツ作成 <span style="float:right">16,056 千円</span>					
iv) ポータルサイト構築 <span style="float:right">千円</span>					
②外部人材活用 <span style="float:right">小計 千円</span>					
i) 企画立案のための外部人材の活用 <span style="float:right">千円</span>					
ii) 地域の語り部の育成 <span style="float:right">千円</span>					
二 関連施設の改修					
地域の魅力発信事業と一体的に行うための関連施設の改修 <span style="float:right">千円</span>					
風評の払拭に関する目標					
【アウトプット】					
①新ホームページのPV数 1,000PV					
②YouTube 動画の再生回数 1,000 回					
③YouTube 動画のコメント数 300 個					
④モニターツアー参加者 一般20名、メディア5名、アンケート調査により情報収集					
⑤外部サイトの投稿数増 (例: YAMAP)					
【アウトカム】					
令和7年度における広野町の観光客入込数 6.5 万人 (震災前の平成22年度 (約 6.4 万人) まで回復を目指す)					
事業概要					
事業実施主体		広野町			
主な企画内容		情報発信コンテンツの作成、モニターツアーの実施			
主な事業の実施場所		広野町			
事業の実施期間		令和5年4月から令和6年3月まで			
企画内容					
【実施体制】					
①実地主体: 広野町					
②連携団体及び役割分担					
(1) 広野町 情報発信、モニターツアーの企画、委託事業者等との調整等					
(2) 広野町観光協会 情報発信、モニターツアーの受入れ等					
(3) 委託事業者 動画・記事の作成、モニターツアーの実施等					

## 【現状・課題】

### <現状>

- ・震災後、最近になって観光地の整備にも取り組むことができるようになるなど、町の復興は進んできてはいるが、令和3年度の観光客入込数は25,095人であり、震災前の水準に戻っていない。
- ・町を代表する景勝地であり、軽登山を楽しむことができる高倉山は、令和3年度に遊歩道を整備したほか、山頂展望台（令和5年度修繕予定）などが整備されているものの、利用者のほとんどは町民である。
- ・また、本格的な登山を楽しむことができる五社山も、太平洋が一望できるなど雄大な景色を堪能できる山頂展望台が整備されており県外からも問合せがある。
- ・広野町は、9割の住民が帰還しており、安全・安心に暮らすことができるが、沿岸部に位置するため、ALPS処理水の海洋放出に伴う風評影響を強く受けるおそれがある。

### <課題>

- ・このように、高倉山、五社山は、広野町の魅力として認知されているものの、広野町では、これまで、東京電力福島第一原子力発電所の廃炉作業員や復興作業従事者との共生、生活インフラの整備等の対応に追われ、十分な情報発信ができていない。
- ・広野町では、安全・安心に暮らすことができる町であることを県外にもPRしているところ、今夏予定されているALPS処理水の海洋放出により、これまでのPR活動の労が水泡に帰すような、更なる風評影響が生じるおそれがあり、これを抑止するためには、町を訪れて安全・安心を体感していただくための取組が重要である。

## 【現状の課題に対するこれまでの取組】

- ・広野町のイメージに関する調査  
町への来訪者（イベントやツアー等）にアンケート調査を実施
- ・広野町の魅力をPRするための動画の制作・発信  
町内の観光地などを紹介する動画を制作、町のHPで公開
- ・広野町を訪れてもらうためのイベントの実施  
県外客を町内に誘致するためのイベントを開催

## 【事業実施により得られる効果】

- ・広野町の認知度の向上、安心・安全に対する理解促進
- ・関係人口や観光客入込数の増加
- ・来町者の滞在時間の増加や消費活動の拡大
- ・ALPS処理水の海洋放出に伴う更なる風評影響の払拭

## 【今年度事業における具体的な取組内容】

- 1 ホームページの制作
  - a. 実施期間：R5.4月～R6.3月
  - b. 実施体制：委託
  - c. 概算費用：1,415万円
  - d. 内容：登山道・遊歩道マップの掲載や現地の写真の掲示によりPRを実施、また、マップに掲載できない詳細な歴史資料等を掲載し、景勝地としての付加価値を高める。
- 2 コースマップの制作
  - a. 実施期間：R5.4月～R6.3月
  - b. 実施体制：委託
  - c. 概算費用：75万円
  - d. 内容：登山道・遊歩道マップを制作し、景勝地としてPRを実施、また、歴史や文化の情報を盛り込んだマップとすることで、自然の中に町の歴史や文化を感じることができる資源としてPRする。
- 3 YouTubeを活用した動画配信
  - a. 実施期間：R6.1月～R6.3月
  - b. 実施体制：新たに作成するページ内への掲載及び町公式チャンネルへの掲載
  - c. 概算費用：116万円
  - d. 内容：資源の魅力発信、更には地元の魅力をより多角的に発信するため、動画による広野町の情報発信を行う。動画については、おすすめコースをなぞる、立ち寄り飲食施設に実際に行って紹介するなど、リアリティのある動画紹介コンテンツとしてPRする。
- 4 モニターツアーの実施
  - a. 実施期間：R5.9月～R5.12月
  - b. 実施体制：20名程度
  - c. 概算費用：533万円
  - d. 内容：各資源を体験し地元の魅力を知ってもらうために県外の登山愛好家やメディア向けにモニターツアーを行う。また、ツアー中にアンケート調査も実施し、定量的なデータ取得も行うことで、継続的な広野町の情報発信に繋げていく。

【今年度事業における目標】※複数年度にわたって事業を実施する場合

【アウトプット】

【アウトカム】

【今年度事業の実施により得られる効果】※複数年度にわたって事業を実施する場合

【次年度以降の取組】※複数年度にわたって事業を実施する場合

【新型コロナ感染拡大防止対策】

事業実施にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、国・実施主体する地方公共団体・（イベント開催など実施主体と開催地が属する地方公共団体が異なる場合には、開催地が属する地方公共団体）が発出する通知・ガイドラインに則った形で事業を実施いたします。

<具体的な対策>

- ・モニターツアー参加者に対する検温、マスク着用や手指アルコール消毒の徹底
- ・動画撮影時には、スタッフ間の適切な距離を保つほか、検温や手指アルコール消毒の徹底、マスクの着用